

2010年3月期第3四半期決算 主要建設会社決算分析



2010年3月8日

財団法人 建設経済研究所

目次

1. 調査の目的
2. 分析対象会社
3. 報告要旨
4. 主要分析結果
 - ①受注高
 - ②売上高
 - ③売上総利益
 - ④販売費及び一般管理費
 - ⑤営業利益
 - ⑥経常利益
 - ⑦特別利益・特別損失
 - ⑧当期純利益
 - ⑨有利子負債
 - ⑩自己資本比率・デットエクイティレシオ
 - ⑪営業キャッシュフロー・フリーキャッシュフロ
 - ⑫工事進行基準への変更に伴う影響

1. 調査の目的

財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別・経年的に比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業の財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。

今回の発表は、各社の決算短信から判明する第3四半期累計の財務指標の分析を提示するものです。なお分析対象会社の一部は12月期決算を採用しています。

資料の提供を頂いた各社には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(お問合せ先) 財団法人 建設経済研究所 研究理事 山口 悦弘
研究員 小室 隆史
岡田 康男
江村 隆祐

電話:03-3433-5242 FAX:03-3433-5239

2. 今回の分析対象会社

(1) 対象会社の抽出

全国的に業務展開を行っている総合建設業者を念頭に、以下の要件に該当し、過去直近3年間の連結売上高平均が上位の39社を抽出した。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること
- ② 会社更生法、民事再生法などの破産関連法規の適用を受けていないこと
- ③ 非上場等により決算関係の開示情報が限定されていないこと

(2) 階層分類

売上高規模別に、以下の3つに階層に分類した。

階層	連結売上基準 (3年間平均)	分析対象会社	社数
大手	1兆円超	鹿島建設、大成建設、清水建設、大林組	4社
準大手	2000億円超	長谷工コーポレーション、三井住友建設、戸田建設、西松建設、前田建設工業、五洋建設、フジタ、熊谷組、東急建設、安藤建設、奥村組、ハザマ、浅沼組、東亜建設工業	14社
中堅	2000億円未満	銭高組、福田組、鉄建建設、太平工業、飛鳥建設、東洋建設、大豊建設、ピーエス三菱、青木あすなろ建設、ナカノドー建設、大本組、東鉄工業、若築建設、松井建設、大和小田急建設、矢作建設工業、大末建設、名工建設、不動テトラ、北野建設、徳倉建設	21社

※福田組は、平成21年12月期 第3四半期のデータを使用

3. 報告要旨

- 受注高(単体)は、景気低迷に伴う民間設備投資の減少や公共事業の発注の遅れといった影響により、建築・土木ともに大幅な落ち込みとなり、全体で対前年同期比▲28.3%と減少した。
- 売上高は、工事進行基準への会計基準の変更に伴う増加分があったものの、昨年度からの受注減少の影響で、全体で対前年同期比▲9.4%と減少した。
(上記増加分を控除した場合は、全体で対前年同期比▲13.5%減少)
- 売上総利益については、昨年度と比較し資材価格が下落したことや、採算を重視した選別受注等により、売上総利益率は改善した。
- 今年度の受注高は、土木において第4四半期に回復する期待はあるものの総じて大幅な減少となる見込みであり、今後の売上高・利益に大きな影響を与えるもので、来年度以降の決算内容の悪化が懸念される。

4. 主要分析結果

①受注高(単体・受注高合計)

単位:百万円

受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度3Q累計	3,912,287	(対前年同期比)	2,471,631	(対前年同期比)	1,225,434	(対前年同期比)	7,609,352	(対前年同期比)
09年度3Q累計	2,446,762	▲37.5%	1,987,278	▲19.6%	1,018,512	▲16.9%	5,452,552	▲28.3%

- 受注高総計は、土木・建築ともに大幅な落ち込みとなり、対前年同期比▲28.3%、約21,568億円減少となった(うち土木は全減少額の20.8%、約4,483億円、建築は同73.6%、約15,865億円)。
- 各階層で減少し、対前年同期比二桁のマイナスとなった。特に、「大手」は対前年同期比▲37.5%と大幅な減少となっている。新規案件の減少に加え、採算重視の選別受注の徹底によるものと考えられる。
- 第3四半期(9-12月)の受注は、対前年同期比▲26.8%となっており受注の落ち込みが続いている。
- 今年度の通期受注目標に対する平均達成率が、約6割にとどまっている状況を勘案すれば、通期受注目標の達成は困難な見通しである。

受注高(単体・建築)

単位:百万円

受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度3Q累計	2,895,812	(対前年同期比)	1,745,043	(対前年同期比)	733,602	(対前年同期比)	5,374,457	(対前年同期比)
09年度3Q累計	1,881,318	▲35.0%	1,335,519	▲23.5%	571,094	▲22.2%	3,787,931	▲29.5%

- 各階層で大幅な減少となった。特に、「大手」の減少は激しいものとなっている。
- 民間設備投資・マンション建設・開発案件等の建築需要の低下が表れている。
- 民間設備投資の低迷は当面継続することが予測されることより、受注量の確保がより難しくなってくる。

受注高(単体・土木)

単位:百万円

受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度3Q累計	851,225	(対前年同期比)	696,107	(対前年同期比)	475,106	(対前年同期比)	2,022,438	(対前年同期比)
09年度3Q累計	514,997	▲39.5%	632,321	▲9.2%	426,837	▲10.2%	1,574,155	▲22.2%

- 各階層で減少となった。特に、「大手」は対前年同期比▲39.5%と大幅な減少となっている。
- 大型工事の発注が遅れており、今第4四半期に集中すると期待する声もある。
- 2010年度の予算案では公共事業関係費が▲18.3%となっており、来年度以降は更に厳しい環境が予測される。

②売上高(連結)

単位:百万円

売上高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度3Q累計	4,885,819	(対前年同期比)	3,047,152	(対前年同期比)	1,440,027	(対前年同期比)	9,372,998	(対前年同期比)
09年度3Q累計	4,357,880	▲10.8%	2,698,498	▲11.4%	1,439,303	▲0.1%	8,495,681	▲9.4%

(参考)工事進行基準への変更に伴う売上高増加額控除後の売上高(3Q)／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度3Q累計	4,885,819	(対前年同期比)	3,047,152	(対前年同期比)	1,440,027	(対前年同期比)	9,372,998	(対前年同期比)
09年度3Q累計	4,218,127	▲13.7%	2,561,119	▲16.0%	1,332,862	▲7.4%	8,112,108	▲13.5%

売上高(通期)／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
05年度通期	6,495,045	3.4%	5,054,537	4.5%	2,485,788	2.0%	14,035,370	3.5%
06年度通期	6,986,836	7.6%	5,141,092	1.7%	2,477,150	▲0.3%	14,605,078	4.1%
07年度通期	6,982,594	▲0.1%	5,060,358	▲1.6%	2,445,701	▲1.3%	14,488,653	▲0.8%
08年度通期	7,159,756	2.5%	4,520,796	▲10.7%	2,316,278	▲5.3%	13,996,830	▲3.4%
09年度通期予想	6,250,000	▲12.7%	4,144,300	▲8.3%	2,226,850	▲3.9%	12,621,150	▲9.8%

-
- 売上高総計は対前年同期比▲9.4%となった(うち「大手」は同▲10.8%、「準大手」は同▲11.4%、「中堅」は同▲0.1%)。

 - 今年度の受注大幅減少の影響とともに、子会社等(連結)においても受注の減少が予測され、2010年度の売上高は大きく落ち込むことが懸念される。

 - 国内市場が縮小する中、建設需要が底堅いアジア地域の強化を行うと発表している企業がある。

③売上総利益（連結）

単位：百万円

売上総利益／売上総利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率
08年度3Q累計	270,095	5.5%	207,033	6.8%	113,195	7.9%	590,323	6.3%
09年度3Q累計	303,283	7.0%	209,232	7.8%	129,043	9.0%	641,558	7.6%

対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	12.3%	1.1%	14.0%	8.7%

- 売上総利益率は総計で対前年同期比1.3%ポイントの上昇となった（うち「大手」は同1.5%ポイント上昇、「準大手」は同1.0%ポイント上昇、「中堅」は同1.1%ポイント上昇）。
- 今年度は資材価格が下落したことや、採算を重視した選別受注等により、売上総利益率は改善したと考えられる。
- 来年度は反転、売上高が減少するとともに資材価格の上昇が予想され、利益面への影響が懸念される。

④販売費及び一般管理費(連結)

単位:百万円

販管費／販管費率

	大手		準大手		中堅		総計	
	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率
08年度3Q累計	249,820	5.1%	181,058	5.9%	107,207	7.4%	538,085	5.7%
09年度3Q累計	235,685	5.4%	173,583	6.4%	92,270	6.4%	501,538	5.9%

対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	▲5.7%	▲4.1%	▲13.9%	▲6.8%

- 販管費は総計で対前年同期比約365億円減少(うち「大手」は約141億円減少、「準大手」は約75億円減少、「中堅」は約149億円減少)。
- 「中堅」は昨年度の人員整理等により大幅な経費削減を実施しており、販管比率も6.4%と対前年同期比1.0%ポイント低下した。「大手」・「準大手」では、販管比率は対前年同期比若干ポイントの上昇となった。
- 受注減少の影響で売上高の減少も予想される中、販管費の動向には注視する必要がある。

⑤営業利益(連結)

単位:百万円

営業利益／営業利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率
08年度3Q累計	20,275	0.4%	25,975	0.9%	5,987	0.4%	52,237	0.6%
09年度3Q累計	67,598	1.6%	35,649	1.3%	36,769	2.6%	140,016	1.6%

対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	233.4%	37.2%	514.1%	168.0%

- 売上総利益の増加と販管費の減少により営業利益は増加し、営業利益率は総計で対前年同期比1.0%ポイントの上昇となった。

⑥ 経常利益（連結）

単位：百万円

経常利益／経常利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率
08年度3Q累計	14,732	0.3%	12,657	0.4%	2,198	0.2%	29,587	0.3%
09年度3Q累計	85,224	2.0%	29,481	1.1%	34,346	2.4%	149,051	1.8%

経常利益（通期）／経常利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率
05年度通期	213,508	3.3%	139,211	2.8%	60,693	2.4%	413,412	2.9%
06年度通期	216,435	3.1%	126,592	2.5%	30,897	1.2%	373,924	2.6%
07年度通期	150,172	2.2%	78,904	1.6%	21,499	0.9%	250,575	1.7%
08年度通期	57,568	0.8%	65,040	1.4%	37,721	1.6%	160,329	1.1%
09年度通期予想	93,500	1.5%	57,900	1.4%	48,800	2.2%	200,200	1.6%

- 営業利益の増加に伴い経常利益も増加し、経常利益率は総計で対前年同期比1.5%ポイントの上昇となった。
- 昨年度は「大手」を中心に営業外費用で為替差損を多額に計上したため経常利益への影響が大きかった。今年度は為替差損は減少している。

⑦特別利益・特別損失の内訳(連結)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	09年度3Q累計	08年度3Q累計	09年度3Q累計	08年度3Q累計	09年度3Q累計	08年度3Q累計	09年度3Q累計	08年度3Q累計
特別利益	33,671	14,715	16,653	7,808	5,293	13,803	55,617	36,326
投資有価証券売却益	13,252	8,345	3,216	947	836	569	17,304	9,861
固定資産売却益	992	281	2,310	2,492	962	1,426	4,264	4,199
特別損失	13,280	47,486	22,121	56,245	15,593	28,821	50,994	132,552
投資有価証券評価・売却損	4,750	16,594	2,821	17,341	1,186	4,820	8,757	38,755
固定資産売却・評価・除却損	609	0	298	778	603	682	1,510	1,460
不動産評価損・減損損失	2,213	3,139	2,145	485	5,299	2,793	9,657	6,417
貸倒損失・引当等	0	17,274	7,334	27,301	5,306	6,009	12,640	50,584
割増退職金	0	0	0	4,152	88	1,989	88	6,141

- 特別利益は、多額の投資有価証券売却益計上に加え、一部企業で開発事業関連違約金の利益計上があったことにより、総計で対前年同期比増加した。
- 特別損失は総計では対前年同期比減少したものの、投資有価証券評価損・売却損、貸倒損失・引当金繰入、減損損失等を多額に計上している。

注1) 上記の特別利益・損失の内訳は各社の分類によるものであり、会社によっては、上記項目に該当するものでも、「その他」等ここに挙げていない項目に含めているものがある。15

注2) 開発事業関連違約金を営業外収益で計上している企業もある。

⑧当期純利益(連結)

単位:百万円

当期純利益／当期純利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
08年度3Q累計	▲14,647	▲0.3%	▲41,959	▲1.4%	▲26,698	▲1.9%	▲83,304	▲0.9%
09年度3Q累計	65,087	1.5%	15,087	0.6%	11,370	0.8%	91,544	1.1%

当期純利益(通期)／当期純利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
05年度通期	112,607	1.7%	362,316	7.2%	14,440	0.6%	489,363	3.5%
06年度通期	133,940	1.9%	49,362	1.0%	▲11,321	▲0.5%	171,981	1.2%
07年度通期	112,933	1.6%	▲23,397	▲0.5%	▲10,891	▲0.4%	78,645	0.5%
08年度通期	▲8,183	▲0.1%	▲27,634	▲0.6%	▲10,297	▲0.4%	▲46,114	▲0.3%
09年度通期予想	53,500	0.9%	28,015	0.7%	20,080	0.9%	101,595	0.8%

- 経常利益改善、特別損失減少により各階層で黒字となった。但し、全39社中9社が当期純損失であり、厳しい状況に変わりはない。
- 通期業績予想を第3四半期累計で達成している企業も見受けられたが、偶発事象に備え、通期業績予想を修正しない(据え置く)企業もあった。

⑨有利子負債（連結）

単位：百万円

有利子負債額

	大手	準大手	中堅	総計
07年度末	1,636,257	742,720	415,283	2,794,260
08年度3Q末	2,222,233	1,020,087	488,571	3,730,891
08年度末	1,795,451	859,953	458,781	3,114,185
09年度3Q末	2,281,163	926,550	438,851	3,646,564

- 有利子負債額は総計で対前年同期比約843億円減少（うち「大手」は約589億円増加、「準大手」は約935億円減少、「中堅」は約497億円減少）。
- 減収増益により（利益の回復と売上債権の減少）、営業キャッシュフローが改善（マイナス幅の縮小）したことにより、有利子負債額は総計で対前年同期比減少となったと考えられる。
- 一部企業では現預金ストックの強化を目的とした資金調達を行っているものと思われる。

⑩自己資本比率・デットエクイティレシオ（連結）

自己資本比率

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	15.9%	21.3%	21.6%	18.4%
09年度3Q末	18.1%	24.6%	25.9%	21.2%

D/Eレシオ

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	1.82	1.08	1.05	1.42
09年度3Q末	1.81	0.99	0.91	1.36

※有利子負債/自己資本で算出

- 有利子負債減少に伴い、D/Eレシオは総計で対前年同期比0.06ポイントの改善となった（うち「大手」は同0.01ポイント低下、「準大手」は同0.09ポイント低下、「中堅」は同0.14ポイント低下）。

注) 自己資本比率は、今までの調査との継続性を重視し、「純資産」ではなく「自己資本」を総資産で割って算出した。

⑪ 営業キャッシュフロー・フリーキャッシュフロー（連結）

単位：百万円

営業キャッシュフロー

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q累計	▲ 456,509	▲ 268,941	▲ 55,598	▲ 781,048
09年度3Q累計	▲ 315,858	▲ 98,151	53,143	▲ 360,866

フリーキャッシュフロー（＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー）

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q累計	▲ 503,293	▲ 278,918	▲ 72,062	▲ 854,273
09年度3Q累計	▲ 339,083	▲ 94,014	29,554	▲ 403,543

※上記項目は、キャッシュフロー非公開会社の数値は含まず

- 営業キャッシュフローは売上債権の減少等により階層問わず改善（マイナス幅の縮小）となった。特に「中堅」では営業キャッシュフロー黒字となっている。

⑫ 工事進行基準への変更に伴う影響

単位：百万円

工事進行基準への変更に伴う売上高・完成工事利益の増加額

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上高増加額	完成工事利益増加額	売上高増加額	完成工事利益増加額	売上高増加額	完成工事利益増加額	売上高増加額	完成工事利益増加額
09年度3Q累計	139,753	11,176	137,379	10,489	106,441	9,150	383,573	30,815

2009年度3Q累計 売上高／各利益額

	大手	準大手	中堅	総計
売上高	4,357,880	2,698,498	1,439,303	8,495,681
売上総利益	303,283	209,232	129,043	641,558
営業利益	67,598	35,649	36,769	140,016
経常利益	85,224	29,481	34,346	149,051
当期純利益	65,087	15,087	11,370	91,544

- 2009年度第1四半期より各社新会計基準に基づき、第3四半期末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事は、工事進行基準が適用されている。基準変更による増額が各項目に含まれていることになる。
- 2008年度以前と比較する場合等においては、工事進行基準への変更による増加額が含まれていることに留意する必要がある。